

総合運動公園ホタルの里づくり実験（第 2 回地域審議会以降の取り組み）

8月8日（木）総合運動公園「桜の谷」現地調査

参加者：中村下水道課長、渡辺荒川支所長、川崎自治振興室長、小川（智）副参事

概要：「桜の谷」がホタルの里づくりを実施する場所として適しているかどうか、また、どのような整備をしたらホタルが生息できる環境づくりが可能か、現地を見ながら、経験者である中村下水道課長より指導を受けた

### 場所としては適合地である

10年位前には「桜の谷」にもゲンジホタルが観測されていた。もともと生息していた場所なので、必要な整備をすれば、ホタルは戻ってくるのではないかと。また現在でも何匹かはいるのではないかと？

現在は草木が生茂って、せせらぎが日陰になっている。そのため、ホタルの餌となるカワニナが生息できない。（カワニナが食べる水コケなどが光合成できない）

また、ホタルが産卵場所（石についたコケの上など）を見つけたり、繁殖のために飛び回るには、せせらぎの上に「空間」が必要だが、枝葉が茂っているため、その空間が無くなっている。

それらの理由により、以前いたホタルがいなくなってしまったと思われる。



枝葉が伸びて、せせらぎや岸の石が隠れてしまっている

### 草刈りや枝払いをして、カラッとさせる

まずは、せせらぎの周りの草刈りや、流れの上に伸びている木の枝を切るなどして、周囲をカラッとさせることが必要だ。全体を草刈りすることが難しければ、ホタル・カワニナの生息に適した流れの弱い所（淀み）の周囲を整備する。川の陽当りを良くして、そこに石・川砂利を入れると、しだいに水コケが付着していく

ので、そこでカワニナが繁殖できるかどうか問題になる。日中の半分は陽が当たるようにすると良い。また、ホタルが産卵する場所は岸にある石上に生えているコケなので、その周りは葉を残して日陰を作ると良い。木もある程度必要だが、流れの片側だけあれば良い。枝が茂っていると、クモが巣をかけ、そこにホタルの成虫が引っかかってしまうので要注意。

桜の谷の最下流付近は淀みがあるので適地だと思うが、最上流の付近も同様の理由により可能だろう。



桜の谷最上流部付近  
(流れが弱い所)

カワニナは近くにたくさんいる

切田など集落の農業用水にはカワニナがたくさんいる。それらを採集してきて、上記の整備した場所に放してやり、そこで繁殖できるか様子を見ると良い。水コケが十分でなければ、ジャガイモなどを半分に切って餌にできる。カワニナの繁殖は今の時期からでも可能。



農業用水



農業用水に生息しているカワニナ

### 他地域の幼虫を買って放流することは生態系を崩すことになる

ホタルは成虫の発光周期など、国内でも地域によって違いがあり、他地域で飼育されたホタルの幼虫を放流することは生態系を崩すことになる。できれば、同じ生息分布の範囲である切田などのホタルの成虫を採集してきて産卵させ、幼虫を育てて放流するのが望ましい。また、ゲンジボタル、ヘイケボタル両方生息が可能だと思われ、繁殖の時期がズレて長くホタルの飛翔を楽しむことができるのではないかな。

鮭公園ではホタルの産卵から幼虫の孵化まで取り組んでおり、そのための道具やノウハウもある。十分可能な作業と思われる。

9月9日及び11日 桜の谷 上部作業

- ① 草刈りを行い、せせらぎが見えるようにカラッとさせた。また、バイパスを造り、水流を分散させて流れの安定を図った



- ② 荒川の河川敷から川砂利や石を持ってきて、流れの中で淀みができる箇所を造った



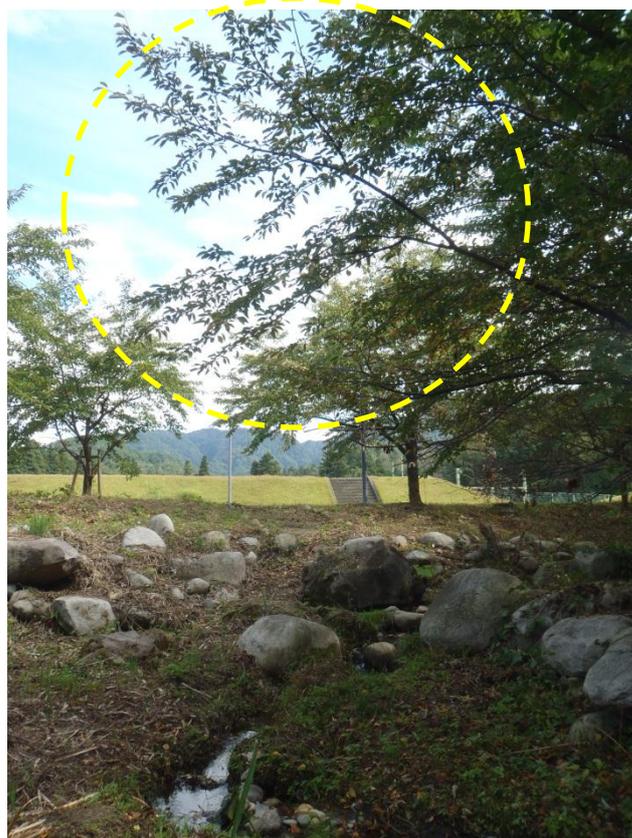
③ 農業用水でカワニナを採集（約 500 匹）して現場に放流（ジャガイモをカワニナの餌に置いた）



10月1日（火）～中村課長に作業後の現地を視察してもらい指導を受けた

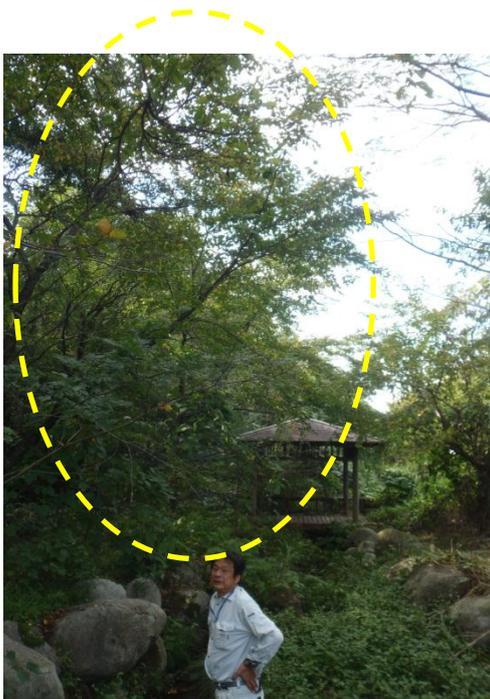


上段だけではホタルが飛翔するところを見るのに最適な場所が造れないので、下段の方も草刈りや枝払いをしてスッキリさせた方が良い



川の流れの真上は一部を残して枝払いをし、ホタルが上空から川の流れを見られるようにする。高い所の枝も切って、ホタルの飛翔するスペースを確保した方が良い

上段と下段の間に滝があり、そこに流れの変化ができる。こういう所もホタルが産卵しやすい場所なので、下段も刈り払いをし、スッキリさせた方が良い



下段の川の真上も枝払いしたい

こういう草は一部残す



こういう木や枝はできれば伐採したい。運動公園の通路側からホタルの飛翔する姿が見えるように通路側をできるだけスッキリとさせる



この枝は残した方が良く。交尾のための止まり木になるため（枝の真下に水苔の付いた石があり、その周りの流れも淀んでいるため、絶好の産卵場所となる）

ホタル成虫を観測できる場所  
水路の中でホタル（ゲンジ・ヘイケ）が生息  
している



#### 全体的な意見

当日の水流であれば理想的な生育環境だと思う。カワナも小さなものがあるので現場で繁殖している可能性がある。落葉や石にくっついているので、葉や水苔を食べているのではないかと。欲を言えば支流をもう少し掘って、石で護岸するなどして、流れを安定させてやると良い。土は今の状況でも十分幼虫が上陸できるので、盛土はしなくても良いだろう。色々な生物が戻ってきているところを見れば、生物の生育環境として適した場所になっていると思う。来年ホタルが自然に戻る可能性もある。

10月9、10日及び15日 現場作業

水量減少により上部のバイパスが流れていなかったため、再度土を掘って流れるようにした。また、桜の枝  
払いした部分に腐食しないよう薬剤を塗布した。



10月10日 下段部分の草刈りを実施した。また、通路側を影響のない範囲で除草剤散布した。



10月15日 シルバー人材センターにボランティアで樹木伐採・枝払いをもらった。

